

揚工舎 (6576)

2018/3 通期は費用計上で減益も増収続く、事業譲受により施設の規模の拡大に取り組む方針

TOKYO PRO Market | ヘルスケア施設 | 会社紹介

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG 6576:JP | REUTERS 6576.T

- 介護保険法に基づき、首都圏を中心にデイサービス事業、有料老人ホーム事業、在宅サービス事業、教育事業を展開している。
- 2017/3 通期は、売上高が前期比 22.2%増の 15.01 億円、経常利益が 5,952 万円、当期利益が 7,028 万円とともに黒字転換した。
- デイサービスの顧客稼働率や有料老人ホームの入居率を伸ばすことに加え、事業譲受により施設の規模の拡大に取り組む方針。

What is the news?

同社は、デイサービス事業、有料老人ホーム事業、在宅サービス事業、教育事業を展開している。売上構成比は、それぞれ約 34%、約 56%、約 9%、約 1%。デイサービス事業では、「リハビリほっとステーションヨウコー」のブランド名のもと、都内に 11 事業所のデイサービスを展開。有料老人ホーム事業は、首都圏において 6 施設を展開し、同社独自の考えである「生活リハビリ」（歩く、椅子から立つなど日常生活における動きの中で、身体を使う際のポイントを指導し、機能回復につなげていくという考え）や、提携病院との協力体制によって、入居者へのケアサービスを提供する。在宅サービス事業では、都内 1 ヶ所のケアステーションにおいて、訪問介護サービス、居宅介護支援サービスのほか、福祉用具貸与・販売、住宅改修等を提供する。教育事業は、介護サービス人材養成および同社の人材確保を目的に、介護における心得や技術を教える講座を提供する。介護福祉実務者研修や介護職員初任者研修のほか、福祉用具専門相談員資格取得コース等もある。

2017/3 通期は、売上高が前期比 22.2%増の 15.01 億円、経常利益が 5,952 万円、当期利益が 7,028 万円とともに黒字転換。デイサービス、有料老人ホーム、在宅サービスの 3 つの事業が堅調に推移。「ヨウコーフォレスト竹の塚」の入居率向上に注力したことで、入居率が 90%以上に改善。また、2016/3 に加わった「ヨウコーキャッスル綾瀬」も、入居率向上及び利益体質への転換の取り組みにより 3Q 以降収支構造が安定した。2015/6 に取得した子会社「ヨウコーフォレスト西台」では、訪問介護事業が伸びたほか、経営資源の見直しも増益に寄与した。

How do we view this?

同社は、デイサービスにおける顧客稼働率や有料老人ホームにおける入居率を伸ばすことに加え、事業譲受により施設の規模の拡大に取り組む方針。2018/7 通期会社計画は、売上高が同 7.6%増の 16.15 億円、経常利益は同 2.1%増の 6,079 万円、当期利益は同 38.6%減の 4,318 万円。2017/7 に大田区の住宅型有料老人ホーム「ピアホーム東雪谷」（現「ヨウコーフォレスト西馬込」）の営業権を取得したことや、住宅型有料老人ホームが訪問介護事業所を併設したことにより増収だが、同社は人件費増や株式公開費用の計上、税費用などから減益となる見通しだ。

業績推移

事業年度	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3F
売上高(千円)	1,126,792	1,228,762	1,501,843	1,615,587
経常利益(千円)	94,351	-12,840	59,528	60,791
当期純利益(千円)	78,150	-36,454	70,289	43,182
EPS(円)	129.82	-52.08	100.41	61.69
PER(倍)	4.93	-	6.37	-
BPS(円)	214.78	147.21	250.04	-
PBR(倍)	2.98	-	2.56	-
配当(円)	0.00	0.00	0.00	-
配当利回り(%)	0.00	0.00	0.00	-

(※)2018/2/17付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を実施したが、2015/3期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、EPS、BPSを算定している。(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=会社予想)

配当予想(円) 未定 (会社予想)
株価(円) 640 2018/4/24

会社概要

2003年に豊島区で介護事業を目的に資本金1000万円にて設立。首都圏を中心に、「感動空間」の創造をテーマとして、介護保険法に基づくサービスであるデイサービス事業、有料老人ホーム事業、在宅サービス事業、介護人材を養成する教育事業を展開する。傘下には、連結子会社の「ヨウコーフォレスト竹の塚」、「ヨウコーフォレスト湘南」、「ヨウコーフォレスト西台」がある。

2003年に「デイサービス ヨウコー」を開設し、デイサービス事業を開始。翌2004年には「ヨウコー 板橋ケアステーション」を開設し、在宅サービス事業を開始した。有料老人ホーム事業は、2010年に事業譲受により豊島区の介護付有料老人ホーム「ヨウコーキャッスル」(現「ヨウコーキャッスル巣鴨」)を取得したことを契機に開始。現在では複数の価格帯を用意しており、入居費用面での入居者の多様なニーズに対応する。2015年には株式会社アイ・ヘルパー・ジャパンから「アイ・ヘルパースクール」の営業権を譲受け、教育事業を開始。「ヨウコーケアカレッジ板橋本校」として運営している。2018/4/24にTOKYO PRO Marketに上場を果たした。

主要株主 (2018/2/28) (%)
1.伊藤 進 91.29
2.塚本 登志江 8.71
(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

増淵 透吾

togo.masubuchi@phillip.co.jp
+81 3 3666 0707

庵原 浩樹

hiroki.ihara@phillip.co.jp
+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹
公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増淵 透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

＜日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則(平14.1.25)」に基づく告知事項＞

1. 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。
2. 当社は、東京証券取引所の定める「特定上場有価証券に関する上場規程の特例」(以下「特例」)第102条の規定に基づき、発行会社の担当J-Adviserに就任する旨の契約を締結いたしております。また、当社は、「特例」第135条に定める流動性プロバイダーであり、発行会社株式の円滑な流通の確保に努めるほか、流動性プロバイダーとしての義務を負っております。